広げよう コミュニティの輪

★ 彩の国コミュニティ協議会 ★

No 44
2015. 3

特集・安心・安全な地域社会を築くために

急速に少子・高齢化が進む中、安心で安全な地域社会を維持し続けるためには、地域の人々が互いに支え合う「共助」が重要となります。「共助」の力で安心・安全な地域づくりを進めている取組を御紹介します。

目次 CONTENTS

P1 特集 安心・安全な地域社会を築くために
■ セーフコミュニティの取組
P2 ■ 坂戸市の取組
P3 平成26年度 埼玉県民の日
P4 会員紹介 東京ガス(株)埼玉支社
サイコミ君情報局

彩の国
コミュニティ協議会
マスコット
サイコミ君

セーフコミュニティの取組

セーフコミュニティは「事故や怪我は予防できる」という考えに基づき、客観的なデータを活用して、地域の人々が安心・安全なまちづくりを目指すもので、世界保健機関(WHO)が推奨する国際認証制度です。地域の課題に様々な団体が協働して取り組むことで、地域の絆がより強まることが期待できます。

北本市コミュニティ協議会 「みんなでつくろう!安心・安全なまち」

北本市では、地域団体や事業者、医療機関など50を超える団体と市民がセーフコミュニティに参画しています。事故や災害による怪我のほか、犯罪や自殺などまちの安心・安全を脅かすすべての事象を対象として取り組んでいます。

セーフコミュニティは各団体等が従来の活動を活かしながら、「みんなが安心して暮らすためにはどうすべきか」を自分たちで考え、力を合わせて原因を取り除いていくものです。例えば犯罪を抑制するため、防犯団体と地域の人たちがデータから得た犯罪発生場所等の情報を共有し、協働して重点的に防犯活動を行うなど効果的な取組を進めています。

今年2月、国際認証を取得し、北本市は全国で10番目、県内では初のセーフコミュニティ認証都市となりました。これを機に多くの市民がこの取組を知り、積極的に関わってもらいたいと考えています。

▲協働パトロールの様子

秩父市自治会連合会 「互助・共助のまちづくり」

秩父市では、自治会や福祉団体、警察など28団体から成る推進協議会を設け、横断的に連携してセーフコミュニティに取り組んでいます。そして、高齢者の安全など7分野で対策委員会を設置し、中心的役割を担う自治会の代表者が全委員会に参加しています。

今年度は大学や警察の協力を得て、子供や高齢者の視点から地域安全点検を行いました。多くの市民が徒歩、自転車、車いすに分かれてまちを点検し、GPS受信機等を活用して得たデータにより地域安全マップを作成しました。

この取組により事故や怪我が減少するのはもちろんですが、それ以上に大切なのは市民・各団体・行政等が一体となり、協力しあって安心安全なまちづくりを推進する仕組みづくりです。平成27年度の認証取得を目指すとともに、継続的な仕組みを築いていきたいと考えています。

▲まちを歩いて点検

特集・安心・安全な地域社会を築くために

坂戸市の取組

坂戸市区長会 「避難経路マップづくり」

事業内容

自治会区域を明確にするとともに、地域間の連携のきっかけづくりとするため、防災拠点や集会所を記載した「坂戸市自治会マップ」を作成し、マップを活用した「自治会マップモデル事業」や全自治会を対象とした「全体研修会」を開催しました。

「自治会マップモデル事業」では、同マップや各地区の区域図を活用して、災害発生時の避難経路や区域内の防災拠点等の確認・点検を行いました。また、「全体研修会」では防災に関する講演会と併せて「自治会マップモデル事業」の報告を行い、地域間での連携の重要性を再認識するとともに、防災意識の向上が図られました。

▲自治会マップモデル事業の様子

共助のポイント

「自治会マップ」の作成にあたり、市内全自治会長に区域の確認をしてもらいました。これにより、自治会境において未対応区域があることが確認されるなど、今後の地域連携の必要性について共通認識が図られました。

「自治会マップモデル事業」では、市の防災体制及び地域での実践例を学習するとともに、実際にマップ作りを行うことで地域のことを見直すきっかけとなりました。作成したマップを市役所の各部署や民生・児童委員、警察署、消防署等に配布することで、自治会だけでなく市内全体で自治会区域や地域の防災拠点等の周知を図ることができました。

▲全体研修会の様子

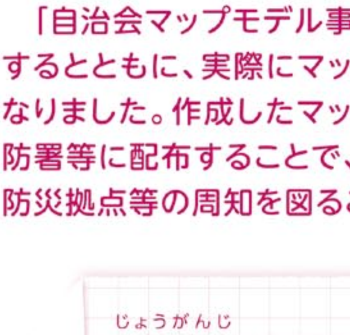
成願寺（じょうがんじ）防犯パトロール隊

坂戸市大字成願寺は133世帯353人が暮らす地域です。
近年、高齢化と共に住民同士のつながりが希薄となり、そこにきて、防犯や交通事故、高齢者の見守り、ゴミの不法投棄など、地域住民自らが対策を講じなければならない問題も増大していました。

そのような中、警察OBが中心となって、今まで行われていた防犯パトロールを中核とした、新しい形の地域支えあいの仕組みが出来上がりました。

活動は地域のパトロールが中心ですが、週2回、曜日と時間のみ決め、自然発生的な参加者で行われます。また、情報交換はメールです。それでは統率がとれないと思われるでしょうが、それが逆で「自らの意思で地域を支える」というモチベーションや各人の都合に合わせて「チョイと共助」的な発想が重なり合って実にうまく機能しています。

パトロールの参加者は年々増え、その絆は強く大きく拡がり、安全安心な地域づくりに寄与していると自負しています。


▲成願寺防犯パトロール隊

平成26年度 埼玉県民の日

去る11月14日（金）、埼玉会館（さいたま市）にて「平成26年度 県民の日記念式典」が開催されました。地方自治功労などに対する県表彰や小中学生の絵画・作文コンクールの表彰のほか、彩の国コミュニティ協議会主催のシラコバト賞、あしたのまち・くらしづくり活動賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長 上田 清司 埼玉県知事から賞状、副賞の楯が授与されました。

第46回 シラコバト賞

シラコバト賞は、日頃、身近なところで住みよい地域社会を実現するため、積極的な実践活動を続けている個人や団体の功績を称える表彰です。今年度は個人138名、団体62の計200件が受賞しました。

受賞団体紹介

● 春日部市本田上（ほんでんかみ）ふれあいチーム（春日部市）

高齢者と中学生のふれあい創出

平成5年の設立以来、高齢者世帯を対象に友愛訪問や食事会などを行っています。年2回の食事会やお茶会は75歳以上の高齢者全員を対象に、地域の中学校の協力を得て行っています。学生ボランティアによる手品や合唱などの発表は、参加したお年寄りの方々に大変喜ばれており、「中学生が来るのが楽しみ」という感想を頂いています。お年寄りの方々の「ありがとう」「ここに住んでよかった」という言葉を励みに、これからも地域の元気に貢献していきます。

▲中学生との交流の様子

● 両神山麓花とみどりを育てる会（小鹿野町）

花で地域の活性化

両神薄地域の振興のため、平成18年に発足。チューリップ等いろいろな花を植栽するなど試行錯誤の末、平成19年からダリアの植栽を開始しました。少人数で苦労しながらも徐々に面積・株数を増やし、平成21年には「両神山麓花の郷ダリア園」が誕生。現在は340種類・5,200株と関東地方最大級の規模でダリアが植栽され、年間を通してその維持管理を行っています。来園者は年々増加し、平成26年は約2か月の開園期間中に2万6千人以上が来園しました。ダリア園を見るために初めて町を訪れる方も多く、地域の活性化に大きく貢献しています。

▲両神山麓花の郷ダリア園

平成26年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞

あしたのまち・くらしづくり活動賞は、住みよい地域社会を目指し、地域が直面している課題に自ら取り組み、多大な成果をあげた住民団体・企業に贈呈されるものです。本年度は県審査により、優秀賞を2団体が、奨励賞を3団体が受賞しました。優秀賞2団体については中央審査会に推薦し、その結果「認定特定非営利活動法人・埼玉県指定特定非営利活動法人メイあさかセンター」が振興奨励賞を受賞しました。

受賞団体紹介

● 認定特定非営利活動法人・埼玉県指定特定非営利活動法人メイあさかセンター（朝霞市）

年齢・立場を超え良い地域づくりに寄与する

認知症及びその介護者を対象とした療育音楽月例会やミニデイサービス、男性高齢者対象にパソコンや英会話レッスンを行うサテライトサロン、高齢者と知的障がい者が一緒に療育音楽を楽しむ会を開催しています。また1987年から朝霞市を中心にマレーシア各地と学校教育の場で描かれた絵画作品の交換交流をしています。現在では、朝霞市のみならず県内外の小中学校との間で、年間4千点を超える絵の交換や人物交流が行われており、両国の国際教育に貢献するとともに、文化交流の橋渡し役を担っています。

▲マレーシアとの文化交流

会員紹介　東京ガス株式会社埼玉支社

▲地域清掃

東京ガスグループは、日々の事業活動を通じて社会的責任(CSR)と公益的使命を果たしていく「CSR経営」を推進しています。そしてCSR 3つの重点活動「エネルギーセキュリティの向上」「環境への貢献」「地域社会への貢献」を定め、グループ全体で取り組みを進めています。

埼玉県内では、県内14事業所で「チーム埼玉」を結成し、以下の環境活動や地域社会貢献活動を実施してきました。

①行政との「地域安全協定」や「要援護高齢者等支援ネットワーク」等の締結
②事業所周辺の地域清掃
③エコライフDAY実施
④エコキャップ回収寄付
⑤エコドライブ推進
⑥福祉作業所等の大掃除
⑦献血や普通救命講習会の実施など

また、小中学校への環境エネルギー出張授業や、生涯学習として公民館で「環境」や「防災」の講座も行っています。毎年夏休みには、埼玉県やさいたま市、NPOとの協働で体験や学習ができる「さいたまエコフェスタ」を開催するなど、地域社会とのコミュニケーションを大切にしながら、共助社会づくりに貢献しています。

東京ガス株式会社埼玉支社　東京ガス埼玉支社　検索

サイコミ君　情報局

サイコミ君がデザインされた啓発バッグ（伊奈町コミュニティづくり推進協議会）

彩の国コミュニティ協議会のマスコット「サイコミ君」は、各地のイベントでコミュニティ活動のPRを行っています。今年度は地域や福祉施設のお祭りなどに参加し、大勢の方々とふれあうことができました。また、伊奈町コミュニティづくり推進協議会の啓発バッグにも登場して好評をいただきました。

▲「くまがやまちの灯り」
段ボールで作ったお家に灯りをともしました。窓からもれる光はとても綺麗でした。

▲「彩の国いきいきフェスティバル」
県民活動総合センター内にあるお茶室に行ってきました。

▲県内福祉施設でお年寄りの方々とリハビリ体操を行いました。

■ 着ぐるみの貸出しやデザインの使用のお問い合わせ　当協議会事務局　TEL048-830-2819

編集発行　彩の国コミュニティ協議会（埼玉県県民生活部共助社会づくり課内）　〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1
TEL 048-830-2819　FAX 048-830-4751　ホームページ　彩の国コミュニティ協議会　検索